

質問事項に関する回答書

(件名)磐越自動車道 龍ヶ嶽トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	6月24日	設計図 (鬼光頭川橋 下部工編)	63/70 57/70		側面図のP2-P3間の距離が3333mm、P2断面図の幅員が2000mmと、 図面57/70の側面図と断面図の数値と異なりますが、どちらを正とすれ ばよろしいでしょうか。	設計図(鬼光頭川橋下部工編)63/70の寸法は誤りとなります。 同設計図57/70を正としてお考えください。
2	6月24日	設計図 (鬼光頭川橋 下部工編)	51/70		例えば側面図(A-A断面)のL=28500の支持杭について、継ぎ施工位置 と思われるラインが1箇所しか記載されていませんが、これより上の 18mについては1本ものを使用する計画と考えてよろしいでしょうか。	部材長12.0mを超える鋼材に関しては、継ぎ施工を行うものとしてお考えください。
3	6月24日	金抜設計書 特記仕様書	B-16頁 70,71	182~191	作業構台Bの型钢や鋼板等の購入品は「設置」と「存置」のどちらで計 上すればよろしいでしょうか。	工事用作業構台Aにおける購入材は設置工に含まれます。 工事用作業構台Bにおける購入材は設置工に、リース品は存置工に含まれます。 また、R6.5.24HP掲載の「質問に対する回答書41(番号5及び6)」も併せてご確認ください。